

# ジョグトリ新聞

発行責任者  
(社)ジョグトリップ之  
理事長 網本裕之

## お悔やみ

### 夏の夕べの奇談

#### 仏様の顔を拝みに行く

お盆も近いので、法事ネタ。

7月も後半のある朝、新聞ローカル欄のお悔やみ情報に目を通しました。すると喪主欄に見覚えのあるTさんの名前が。

ジョグトリップ関係で日頃からお世話になっている、平戸の方です。

当日18時から通夜となつてましたので、ちよつと早めの17時20分くらいに斎場に着きました。

受付で香典を渡して式場に入ります。祭壇にお線香を上げて合掌し、遺族席の方々に挨拶します。

あれっ？喪主のTさ

んがないいなあ？と思いましたが、トイレにでも行っているんだろ  
うなど、そのまま弔問客用のイスに座りました。

周りは知らない人だらけです。平戸では新参者だしなあと思いましたが、なあんか様子が変なんです。Tさんが勤めている会社のお花が出てません。平戸では社員の家族の葬儀にはお花を出さないの  
かなあ？

で、遺族席を再度確認すると、やつぱりTさんの姿はありません。でも、不思議なことに遺族席はきつちり埋まつてるんです。

あれえ？これはやつ

ぱり変だ。

そこで、平戸葛屋に勤めている妻にメールを送りました。「ちよつと様子がおかしか」妻はさつそく葛屋の社長に訊いてみたそうなんです。そしたら社長曰く。

「Tとはついさつき会つてきたばかりだよ」

ガビーン！まつたく知らんとこの通夜に來てるう！

包んだ香典を返してくれとも言えず、そのまま斎場を後にしたあみりんなのでした。翌日になって、平戸にはTさんと全く同姓同名(それも同じ漢字)の人がいるということ

を知りました。

慶弔事で出向くときには、よく確認せん

## 胸のデキモノを摘出術

### 小心者のあみりん

子どもの頃から、左胸に袋みたいデキモノができてました。

昔から気にはなつていたんですが、お医者さんに診てもらおうたびに「悪性のものじゃないので急いで取るほどのことではありませ

ん」と言われて、そのまま放置してました。でも、近頃だんだん大きくなってきた気がして、なあんか違和感を覚えるようになって、取つてもらふことにしました。

「日帰りでも入院でもいいですよ」とのことなので、この際一泊入院することにしました。

部分麻酔だけでいいということ、摘出もチャツチャツチャツと済むんだらうと思つて、小旅行に行く感じ

ところが、当日3時

といかんぜよ！ということですね(特にお金を包むときには)。

に手術室に入つてみると、思ったより大事みたい。(ちなみに部分麻酔なので、目も見えずし耳も聞こえませ

す) 積年のお付き合いでデキモノが筋と癒着しているらしく、じっくり時間をかけて切り取つていきます。時々焼き切るニオイもしま

す。で、1時間弱経つたころでしょうか。医者「誰か4時半から用事があるつて言つてなかつたっけ？」

看護婦「はい、うちの子どもの三者面談が入つてまして」

医者「それじゃ、遅れちゃいけないね」

全てお任せ、まな板の鯉同然のあみりんでしたが「ライライ、三者面談かよ」と心の中でつぶやいてました。その後も真剣なオペ

が続き、デキモノもきれいに摘出され、4時半には無事全行程を終了しました。お見事！

## 作務衣元年

春先から久留米絨の作務衣を愛用しております。出会う人から「かっこいいですね」などと言つてもらつたりして、朝も昼も夜もこれ一枚。

脱ぎ着も簡単で、デキモノ除去前後に先生に胸元を診てもらふときにも軽く紐をほぐすだけでOK。

素肌に着るので、初夏に入つても快適作務衣生活を楽しんでました。

しかし、夏も本番。黙つて座っているだけで汗が滝のように流れ落ちてくるようになる

と、さすがに暑い！素肌に着るので、すぐ汗でベチヨベチヨ。さすがに耐えきれず、メツシユ生地の手袖シャツへ全面的に切り替えと相成りましたとき。